

## 18年度の主な事業

■高規格救急自動車整備事業	3,723万円
■全国消防操法大会出場助成	355万円
■広域生活バス路線運行維持対策費	285万円
■企業立地促進助成金・ふるさと融資貸付事業〔守山乳業(株)へ〕	2億5,000万円
■協働のまちづくり推進事業	75万円
■介護予防関連事業	1,430万円
■第5次病院経営健全化対策費	8,032万円
■農地災害復旧対策事業費助成	353万円
■畜産担い手育成総合整備事業	1億1,636万円
■森林整備地域活動支援交付金	8,200万円
■除雪用トラック整備事業（7トントラック1台）	1,922万円
■町道柵ノ木土谷川線整備事業	9,144万円
■葛巻小学校耐震診断業務	488万円
■平船地区集会施設整備事業費助成	699万円

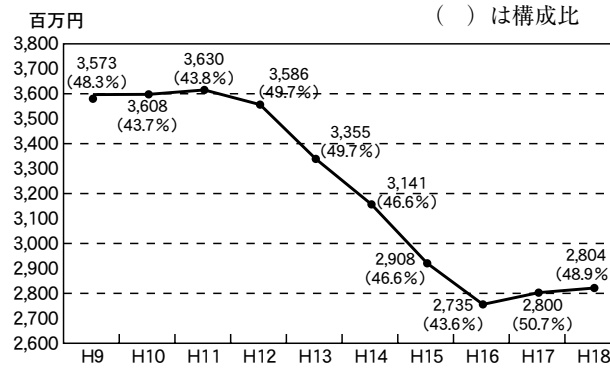
「この笑顔をつつまでも」と願ったまちづくりが行われました



# 55億円の 使い道

## 平成18年度 決算

### 【参考】 普通交付税の推移

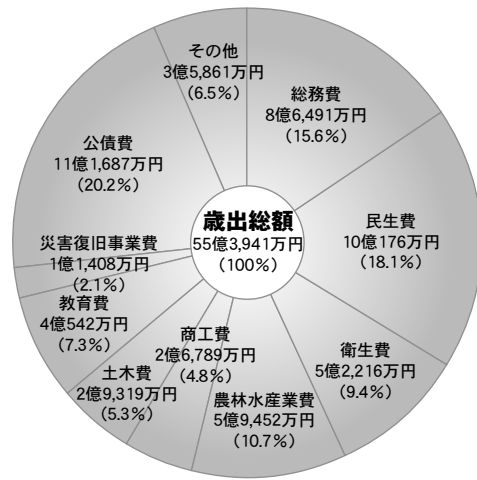


一般会計決算額は、歳入が57億3,806万円の前年度より2億1,680万円の増、歳出は55億3,941万円の前年度より1億6,049万円の増となり1億9,865万円を19年度に繰り越しました。

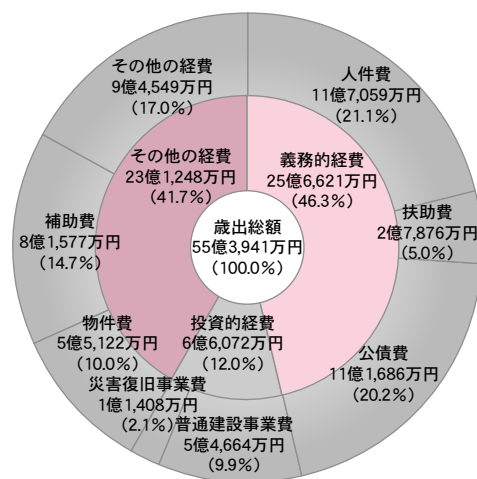
主な事業として、昨年10月の大雨災害の復旧事業、病院事業の不良債務解消に向けての繰り出し、守山乳業(株)葛巻工場拡張に伴う「ふるさと融資貸付事業」、「畜産担い手育成総合整備事業」などを行いました。

平成十八年度一般会計と特別会計決算が、九月定例議会で認定されました。町の会計は、「一般会計」と「特別会計」に分けられ、町民の福祉向上や生活環境の整備に充てられています。予算がどのように使われたのか、今月は一般会計のあらましをお知らせします。

### 歳出の目的別内訳



### 歳出の性質別内訳



※本頁は、18年度地方財政状況調査によっています。

### こちらも1億6,049万円の増

### 歳出

歳出を目的別で見ると、町の借金の返済に充てる公債費が最も多く、11億1687万円で歳出全体の20.2%を占めています。次いで民生費の10億176万円、総務費8億6491万円の順です。前年度より大きく増えたのは、商工業費で「ふるさと融資貸付事業」等により2億5092万円、農林水産費で粗飼料基盤の造成や担い手育成を図るため農業用施設整備費への助成など、畜産事業費を中心に719万円増えています。減額が大きいのは、土木費が土谷川筋災害関連事業の完了により2億589万円、公債費が5736万円の減となっています。災害復旧事業費は、十八年度予算額1億408万円のうち、執行額は1億1408万円で、8億8995

万円を十九年度に繰り越して事業が行われます。性質別で見ると、義務的経費が前年度より1億3729万円減少しました。町では、人件費及び公債費を抑制するために、職員数や議員定数、給料、報酬を削減するなど改革を進めてきました。また、施設整備等は、優先度の高い事業を重点的に実施することにより、町債発行の抑制に努めています。この結果、財政指標のうち、容易には改善が難しいと言われている経常収支比率が十年ぶり、起債制限比率が八年ぶりに低下するなど、いくつかの財政指標がわずかながら改善傾向を示しています。財政の健全化は、長年の積み重ねを必要とします。引き続きのご協力をお願いいたします。(金額はすべて一百万円未満四捨五入)

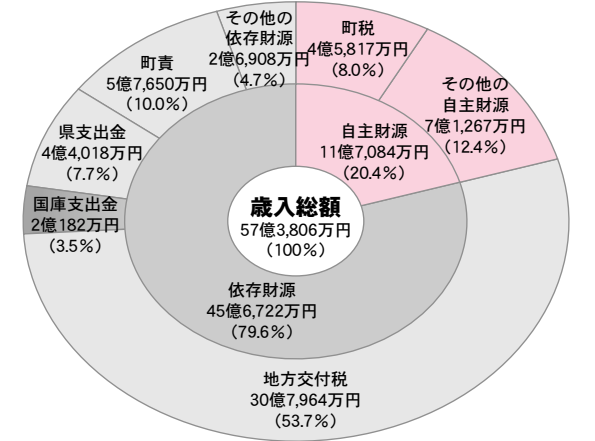
### 歳入

### 前年度に比べ2億1,680万円の増

歳入で最も多いのが地方交付税の30億7964万円。前年度より4303万円の増で歳入全体の53.7%を占めています。これは昨年10月の災害発生に対して特別地方交付税が措置されたこと等によるものです。国・県支出金は合わせて6億4200万円の前年度より1億1677万円の減。土谷川筋災害関連事業の完了等により国庫支出金が2億521万円の減です。町債は5億7650万円で、守山乳業(株)の葛巻工場拡張工事に伴う「ふるさと融資貸付」の貸し付けのための借入れ等により1億1070万円の増。これは後年度に元金が全額返済されるものです。

町税は4億5817万円で、前年度より3197万円の減となっています。これは町民法人税割の落ち込みや、三年に一度行われる固定資産税評価替えの結果、評価額が減少したこと等によるものです。徴収率は91.9%で、前年度を1.3ポイント下回りました。自主財源である繰入金金は3億983万円の前年度より1億9418万円の増。財政調整基金からの繰り入れが増額の主な要因で、昨年10月発生の災害復旧事業や病院会計の不良債務解消に向けた病院経営健全化対策等のために財政調整基金を2億2900万円を取り崩しています。

### 歳入の内訳



### 財政用語の解説

■**財政指標**…一定のルールに基づいて算出する比率等で、市町村の財政の健全化や財政構造の弾力化を見る目安となるもの  
■**経常収支比率**…財政構造の弾力性を表す指標。指数が小さいほど弾力性がある。市町村は70%程度が妥当と考えられている。(参考 葛巻町H17: 92.9%、H18: 91.9%、県平均89.8%)  
■**起債制限比率**…公債費による財政負担の度合いを判断する指標で、地方債の発行を管理するために使用する。比率が20%以上の団体は一部地方債の発行が制限され30%以上になるとさらに厳しい制限がされる。(参考 葛巻町H17: 15.0%、H18: 14.8%、県平均11.9%)